

教育グループ 2

平成

29 年度 第 3 回

議事録

【年間テーマ ・抑制に対する現状、廃止への取り組み方

・スタッフへ抑制廃止の意識向上に対する教育方法

】

平成 29 年 9 月 1 日提出

日付	平成 29 年 8 月 26 日 (土)			
場所	センターザ博多		記録者名：能登 かなこ	
出席者 (敬称略)	福岡和人会病院中野 文江	丸山病院 田中匠	福西会南病院 樋口まゆみ	水戸病院 藤本貴子
	緑ヶ丘病院 松崎秀昭	シーサイド病院 大隈貴之	大牟田共立病院 古我城陽由夏	水野病院 大倉五月
	有吉病院 能登かなこ			
テーマ	抑制廃止に向けての取り組み内容、スタッフへの教育方法検討会			
結論	<p>取り組みの内容として、ミトンの使用を中止する取り組みが多く聞かれた。中止後、仕向のアセスメントやフランド時の入居者の動きを撮 影する事が大切になってくる。つなぎの使出中止はオムツ交換の回数を増やす事で、オムツきまりがなくなりパジャマへ変更する事が出来 た。違和感がある方には軟膏使用や保護衣を着せ不快感を与えないよう徹底した。テープの固定方法を変える事で自己剥去の防止が出来た。 スタッフへの教育方法としては、この会で使用している冊子をスタッフ間で読み合わせしてもらい、抑制廃止への意識共有を図る。また、 抑制廃止に向けて、上司からの掛け合いが必要なのではないか。</p>			
決定事項	各病院から取り組みしている内容を聞いて、自施設でも実践出来る事は行っていく。今回、スタッフへの教育は次回の議題へ持越しする。			
備考	リーダー：古我城 真由美 書記：能登 かなこ 発表：松崎 秀昭			
次回討論項目	抑制廃止に取り組む為にスタッフへどのような教育を行なっているか			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)